

令和2年度 事業報告 目次

令和2年度 事業報告

I 作品

(1) 収集	1
(2) 展示	2
(3) 貸出	2

II 展覧会

(1) 企画展 川瀬巴水展	3
(2) 企画展 柳原義達展	4
(3) 特集展 ロビー展 彫刻たちの饗宴	5
(4) 特集展 夏の所蔵品展 日常という宝物	6
(5) 特集展 新収蔵品展 国際興業コレクションを中心に	7
(6) 特集展 ロビー展 宮川慶子展 ー生命は自分自身だけでは完結できないようになっているらしいー	8

III 教育普及

(1) 令和2年度実施プログラム	9
(2) スクールプログラム	9
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	10
(4) アートカードの貸出	12
(5) おうちで美術を楽しもう	12

IV その他の事業

(1) 事業	14
(2) 団体向け研修・体験プログラム	14
(3) 博物館実習生及び職場体験	14
(4) 広報活動	14

V 施設利用者等の統計

(1) 展覧会	15
(2) 貸出施設	16

VI 施設の管理	17
----------	----

令和2年度 事業報告

I 作品

(1) 収集

寄贈作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	糸賀英恵	沈丁花	2011 年	138.0×56.0×74.0	銅
2	木下晋	いきざま	1994 年	190.0×100.0	鉛筆・ケント紙
3	木下晋	Y子女史像	1978 年	71.5×59.5	油彩・キャンバス
4	加藤芳信	石版画集 行雲流水・点	1987 年	No.1-3 : 44.0×56.0 No.4-10: 56.0×44.0	石版・紙
5	井上三綱	麦	1947 年	75.0×51.0	墨・胡粉・弁柄・紙
6	井上三綱	編物	不詳	60.5×45.8	胡粉・弁柄・紙
7	野見山暁治	人のいない景色	1990 年頃	194.0×194.0	油彩・キャンバス
8	野見山暁治	いっぺんにやってくる	1997 年	112.1×145.7	油彩・キャンバス
9	鈴木竹柏	雪気	1992 年	150.3×220.3	紙本彩色
10	鈴木竹柏	山に咲く	2010 年	135.2×190.1	紙本彩色
11	鈴木竹柏	ひかり輝く	2013 年	151.0×200.0	紙本彩色

寄託作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	糸賀英恵	さしこみとひらき	2015 年	112.0×87.0×110.0	銅
2	大橋翠石	猫児之図	1928 年	143.4×34.7	紙本彩色
3	大橋翠石	睡猫	不詳	114.0×34.0	絹本彩色
4	川村清雄	巖(旧題:怒濤)	大正～昭和初期	22.8×31.7	油彩・キャンバス
5	藤松博	旅人 10 (小サ子物語)	1977-79 年	52.0×40.0	油彩・キャンバス
6	安田靫彦	遣唐使	1900 年	54.8×33.0	絹本彩色
7	山田馬介	風景	不詳	37.0×54.0	水彩・紙

(2) 展示

当館展覧会において下表のとおり、179点の作品を展示しました。

ただし、企画展「川瀬巴水展」「柳原義達展」は新型コロナウイルス対策による臨時休館で中止になりました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	川瀬巴水展（中止）	(266 点)	(0 点)	(266 点)
2	企画展	柳原義達展（中止）	(88 点)	(0 点)	(88 点)
3	ロビー展	彫刻たちの饗宴	22 点	22 点	0 点
4	特集展	日常という宝物	44 点	44 点	0 点
5	特集展	新収蔵品展	73 点	73 点	0 点
6	ロビー展	宮川慶子展	40 点	1 点	39 点
計			179 点	140 点	39 点

※（ ）内の数字は出品予定数

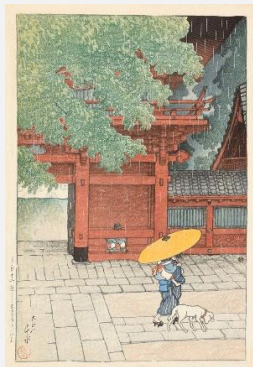
(3) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり4点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	加藤栄三・東一記念美術館	生誕120年 日本画家 山本丘人展 (2020年4月14日～6月7日)	2 点	山本丘人 《海道の径》 《岩壁》（ともに寄託作品）
2	パナソニック汐留美術館	和巧絶佳展 令和時代の超工芸 (2020年7月18日～9月22日)	1 点	深堀隆介 《五合枘 桜升 命名 淡紅》
3	神奈川県立近代美術館 葉山館	珠玉の日本画展 (2020年10月10日～12月20日)	1 点	安田靉彦 《日食》
計			4 点	

Ⅱ 展覧会

(1) 企画展 川瀬巴水展（中止）

種 別	企画展
会 期	4月18日(土)～6月7日(日)
主 催	平塚市美術館
協 力	荒井寿一コレクション
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(5月4日は開館)、5月7日(木)
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	44日
担 当	家田奈穂(当館学芸員)
 《旅みやげ第二集 金沢下本多町》1921年 木版・紙、荒井寿一コレクション  《東京十二題 五月雨ふる山王》1919年 木版・紙、荒井寿一コレクション	

●内容

大正から昭和にかけて風景版画を数多く制作した川瀬巴水（かわせ・はすい、東京生、1883-1957）の展覧会を開催します。

川瀬巴水は、幼少より絵に関心を寄せていましたが、本格的な画業の開始は遅く、27歳で鏗木清方（かぶらき・きよかた）に師事します。大正時代前半の巴水は、清方の弟子として雑誌の挿絵や口絵、広告図案などの仕事をして版による制作に親しみました。やがて、同門の伊東深水が制作した風景版画《近江八景》の連作に影響を受けて本格的な木版画制作をこころざし、版元・渡邊庄三郎と協力して、大正7（1918）年に塩原の写生にもとづく三部作を発表します。以後、約40年にわたって日本各地を写生旅行し、その地に暮らす人々の生活や四季折々の風景をもとに、詩情あふれる作品を数多く生み出しました。

本展では、よく知られた版画作品のほか、本の装丁や雑誌の表紙・挿絵・口絵の仕事も併せて紹介し、「版」という表現手段を通じて生み出された巴水作品の展開と幅広さをお楽しみいただきます。

●関連事業（すべて中止）

○講演会「川瀬巴水の人と版画」

日時：4月25日(土) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール ※申込不要、無料、先着150人

講師：岩切信一郎氏(美術史家)

○学芸員によるギャラリートーク

日時：5月9日(土)、5月23日(土) 各回14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

○ワークショップ「水性多色木版画を作ろう！」

日時：5月17日(日)、5月24日(日)、5月31日(日) 各日13:30～16:30 ※全3回講座、事前申込制

講師：内山良子氏(版画家)

(2) 企画展 柳原義達展（中止）

種 別	企画展
会 期	4月18日(土)～6月7日(日)
主 催	平塚市美術館
共 催	三重県立美術館
助 成	公益財団法人三重県立美術館協力会
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(5月4日は開館)、5月7日(木)
観 覧 料	一般400円、高大生200円
開催日数	44日
担 当	土方明司(当館館長代理)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)
 柳原義達《坐る》1960年 三重県立美術館蔵  柳原義達《風の中の鴉》1982年 三重県立美術館蔵	

●内容

日本の彫刻界を代表する作家のひとりである、柳原義達（1910-2004）の業績を紹介します。柳原は戦前よりロダン、ブールデルの影響により彫刻制作を始めます。戦争を経て、戦後、1953年に渡仏し、新たな具象彫刻を制作します。その緊張感に満ちた造形性は、対象の本質を表し、具象彫刻の可能性を押し開きました。加えて、ヒューマニズムに裏打ちされた感覚により、生命感あふれる作品を発表します。これにより、戦後日本の彫刻界に大きな足跡を残しました。

「生命の力の移動を見、その移動によってプランが構成される芸術は、絵では出来ない。ただ一つの彫刻の世界、特に具象の作家の仕事ではなかろうか。私はこのことこそ、唯一の純粋な彫刻の美であり、具象の美しさであると信じている。私は少しでも絵画的表現の戦前の仕事から、彫刻の本質とは何かの困難な道を歩みたい。」（『柳原義達美術論集 孤独なる彫刻』）と柳原は記しています。

本展は、代表的な彫刻および素描により柳原彫刻の魅力を紹介するものです。

●関連事業（すべて中止）

○講演会「柳原義達がめざしたもの」

日時：4月18日(土) 14:00～15:30

場所：ミュージアムホール ※申込不要、無料、先着150人

講師：毛利伊知郎氏（前三重県立美術館館長）

○ギャラリートーク

日時：5月10日(日) 14:00～15:00

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

講師：江尻潔氏（足利市立美術館次長）VS 土方明司（当館館長代理）

(3) 特集展 ロビー展 彫刻たちの饗宴

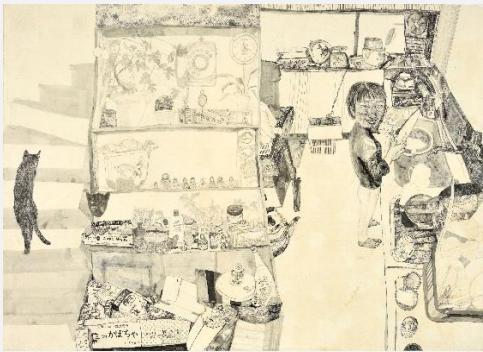
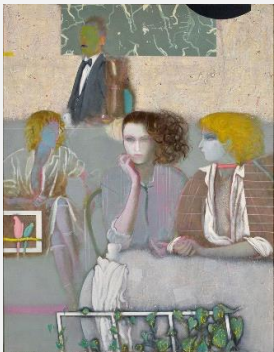
種 別	ロビー展
会 期	6月16日(火)～12月6日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(8月10日、9月21日、11月23日は開館)、8月11日(火)、9月23日(水)、11月24日(火)
観 覧 料	無料
開催日数	150日
観覧者数	6,421人
担 当	勝山滋(当館学芸員)
 黒川弘毅《EROS72》2009年  小田薫《トキノクラ》2009年	

●内容

6月16日の平塚市美術館再開にあたり、1階ロビーを利用した「彫刻たちの饗宴」を開催しました。ふだん展示の機会の少ない立体作品のなかから、11名の作家による多彩な素材の彫刻、工芸作品22点を選んで展示しました。

窓越しに前庭彫刻広場のホセ・デ・リベラ作品、保田春彦作品とマケット原型および試作を対照させて展示するほか、人型に掘った砂にブロンズを流す手法で彫刻の意味を問う黒川弘毅作品、萩焼を代表する三輪龍氣生(12代休雪)の大作、さらにパウル・ヴンダーリッヒ、林辺正子の工芸作品といった幅広いジャンル、素材による立体作品を展示し、見る人に親しんでいただけることを願って「彫刻たちの饗宴」としました。

(4) 特集展 夏の所蔵品展 日常という宝物

種 別	特集展
会 期	8月1日(土)～9月27日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(8月10日、9月21日は開館)、8月11日、9月23日(水)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	50日
観覧者数	1,935人
担 当	勝山滋(当館学芸員)
 石井礼子《私の周囲(マイキッチン)》1997年(当館寄託)  佐藤泰生《午後の女達》1983年	

●内容

「夏の所蔵品展 日常という宝物」を開催しました。
 コロナウイルス感染症による厳しい世情のなか、改めて大切にかけがえのない日常に思いをはせ、

第1章. STAY HOME(家のあるイメージ)

第2章. 日常の風景

第3章. 国内外の風景

の3章により32作家44点を展示しました。

第1章では身近な家族の笑顔と団欒を描いた石井礼子の《私の周囲》シリーズや家の内外を描いた多彩な作品、第2章では、祭礼の縁日の光景を襖絵として描いた山下大五郎《祭の森》をはじめ、カフェに集い、歌い、踊り、日常生活を楽しむ人々の姿、そして第3章では、現今の社会情勢では訪れることの難しい観光名所などの国内外の風景、さらには工藤甲人の心象風景など、澄んだ空気感とともに穏やかなぬくもりを見せる風景を選んで展示し、日常生活を寿ぐ構成としました。

(5) 特集展 新収蔵品展 国際興業コレクションを中心に

種 別	特集展
会 期	10月3日(土)～2月21日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30 まで)
休 館 日	月曜日 (11月23日, 1月11日は開館) 1月12日, 年末年始 (12月28日～1月4日) ※展示替のため休室 12月11日(金), 12月22日 (火) ～27日 (日)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	109日
観覧者数	4,168人
担 当	江口恒明(当館学芸員)
 三岸幸太郎《旅愁》1934年 (当館寄託)  福沢一郎《静物(花)》1938年	

●内容

2019年に新たに当館コレクションとして寄贈・寄託された73点を紹介しています。

中心となるのは国際興業株式会社より寄託を受けた油彩画・日本画60点です。2015年の企画展「画家の詩・詩人の絵」展に三岸好太郎《海洋を渡る蝶》《旅愁》の出品を契機に寄託の運びとなりました。

同社のコレクションは、当館の所蔵作品にはなかった作家が数多く含まれていることが特徴で、岡田三郎助、山下新太郎など、明治時代後半に活躍した画家や、東郷青児、岡田謙三ほか、官展や二科展に所属した画家の作品が寄託されました。これまで公開されることがほとんどなく、近代日本洋画の知られざる名品と呼べるものです。

このほかの寄贈・寄託作品として、市内大住中学校で教鞭をとったこともあり、現在大阪芸術大学教授をつとめる泉谷淑夫の油彩画、2018年にロビー展を開催した土田泰子の立体作品も紹介し、新たに当館に収蔵された多彩な作品をお楽しみいただきました。

●関連事業

○学芸員によるギャラリートーク

日時：11月21日(土)15人参加、12月19日(土)5人参加、1月16日(土)中止 各回14:00～14:40

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧

(6) 特集展 ロビー展 宮川慶子展

ー生命は自分自身だけでは完結できないようになっているらしいー

種 別	特集展
会 期	12月12日(土)～4月4日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(1月11日は開館) 1月12日、年末年始(12月28日～1月4日)
観 覧 料	無料
開催日数	92日
観覧者数	4,818人
担 当	勝山滋(当館学芸員)
 《わたしがわたしとあなたのためにお祈りしているとき》2014年 撮影：柿崎真子  《聞こえる》2015年 個人蔵	

●内容

宮川慶子(みやがわけいこ、1991-)は横浜に生まれ、現在横浜と東京で制作する女性作家です。東京造形大学を卒業し、2014年に青森県立美術館で奈良美智による若手作家選抜展で個展を開催ののち、個展やグループ展で活躍しています。剥製や石塑粘土を素材とした作品からは、生と死を見つめる作家のまなざしが感じられます。

また平面、立体作品、さらに詩作など、その他多岐にわたる創作活動からは、いまを生きる作家の極めて現代的な時代性が感じられます。

ロビー展の舞台となるテーマホールは外光がふりそそぎ、時とともに様相が変化する大空間です。うつろう陽光のなかで立ちあらわれる宮川慶子の作品世界を堪能していただきました。

●関連事業

○アーティストトーク

日時：12月12日(土)30人参加、3月13日(土)中止 各回14:00～14:30

場所：テーマホール ※申込不要

講師：宮川慶子氏(美術作家)

○作家によるワークショップ「自分だけの不思議ないきものを描こう」中止

日時：2月6日(土) 10:00～12:00

場所：アトリエB ※事前申込

講師：宮川慶子氏(美術作家)

Ⅲ 教育普及

(1) 令和2年度実施プログラム

担当:江口恒明(当館学芸員),久保田知美(当館会計年度任用職員),品川ちひろ(当館会計年度任用職員)

4プログラム実施 参加者数:148人

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	家を集めて街をつくろう	なし	8月1日(土)～ 9月6日(日)	なし	夏の所蔵品展日常と いう宝物観覧者	102人
2	体験アートセラピー 親子でパステルアート	福山 恵美子 (アートセラピスト)	11月7日(土)	200円	親子(小中学生)	4組 10人
3	キッズアート・ピクニック	富田 めぐみ※	11月27日 (金) 11月29日 (日)	500円	親子(2才～6才)	17組 33人
4	ガリ版で年賀状を作ろう!	城戸 宏 (版画工房主宰)	12月6日(日)	800円	中学生 ～ 一般	3人
5	銅版画講座 ドライポイントに挑戦!	城戸 宏 (版画工房主宰)	1月10日(日) 1月17日(日)	1,000円	中学生 ～ 一般	中止
6	自分だけの不思議な生き物を 描こう	宮川 慶子 (美術家)	2月6日(土)	500円	親子 (年長～小学生)	中止
7	東海大学協働事業 デッサン教室 ～人物デッサンを描いてみよう～	河野 孝博、吉村 維元、 仙谷 朋子、笥 菜奈子 (東海大学芸術学科教員)	2月21日(日)	なし	中学生 ～ 一般	中止
8	陶芸講座	百田 輝 (陶芸家)	3月6日(土) 3月20日(土) 3月27日(土)	1,000円	中学生 ～ 一般	中止
9	錫でバングルを作ろう	糸賀 英恵 (鍛金作家)	3月14日(日)	1,000円	小学生 ～ 一般	中止

※NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

(2) スクールプログラム

担当:江口恒明(当館学芸員),久保田知美(当館会計年度任用職員),浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

3プログラムを実施 参加者数:110人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	先生向け体験ワークショップ 対話による美術鑑賞の理解を深める	三ツ木紀英 (ARDA)	8月18日(火)	小・中・高・特別支援学校の教職員	10人
2	旭小学校団体来館	当館会計年度任用職員	11月25日(水)	4年生3クラスの児童と引率教員	85人
3	大原小学校団体来館	当館会計年度任用職員	12月4日(金)	1～6年生までの支援級の児童と 引率教員	15人

(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

●ボランティア育成のための研修等を実施しました。

対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つまねれ)5期生の育成、及び新規加入の6期生11名の育成を実施しました。

また、6期生募集のための体験会、ボランティア同士の交流やミーティングを目的とした、ひらびcaféを実施しました。

61プログラムを実施 参加者数：530人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	オンラインひらびcafé	当館学芸員	4月22日(水)	10人
2	オンラインひらびcafé	当館学芸員	4月28日(火)	7人
3	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月6日(水)	13人
4	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月15日(金)	7人
5	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月16日(土)	6人
6	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月17日(日)	12人
7	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月18日(月)	8人
8	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月21日(木)	7人
9	実践研修1回目(1～5期・オンラインで実施)	三ツ木紀英 (ARDA)	5月22日(金)	16人
10	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月24日(日)	7人
11	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月25日(月)	3人
12	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月26日(火)	3人
13	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月27日(水)	5人
14	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月29日(金)	5人
15	オンラインひらびcafé	当館学芸員	5月31日(日)	7人
16	自主研修1回目(1～5期)	当館学芸員	6月19日(金)	7人
17	自主研修2回目(1～5期)	当館学芸員	6月27日(土)	7人
18	実践研修2回目(1～5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	7月10日(金)	16人
19	自主研修3回目(1～5期)	当館学芸員	7月24日(金)	6人
20	ひらびcafé	当館学芸員	7月28日(火)	5人
21	自主研修4回目(1～5期)	当館学芸員	7月31日(金)	9人
22	自主研修5回目(1～5期)	当館学芸員	8月4日(火)	11人
23	体験会1回目	当館学芸員	8月5日(水)	10人
24	ひらびcafé	当館学芸員	8月8日(土)	4人
25	自主研修6回目(1～5期)	当館学芸員	8月28日(金)	8人
26	体験会2回目	当館学芸員	8月29日(土)	8人
27	ひらびcafé	当館学芸員	9月8日(火)	6人
28	実践研修3回目(1～5期)	三ツ木紀英 (ARDA)	9月11日(金)	12人
29	ひらびcafé	当館学芸員	9月18日(金)	7人
30	ひらびcafé(おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	10月8日(木)	10人
31	基礎研修1回目(6期)	三ツ木紀英 (ARDA)	10月17日(土)	12人
32	ひらびcafé	当館学芸員	10月18日(日)	2人
33	基礎研修2回目(6期)	三ツ木紀英 (ARDA)	10月24日(土)	11人
34	ひらびcafé(おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	10月28日(水)	6人
35	自主研修7回目(1～5期)	当館学芸員	10月30日(金)	7人

36	自主研修8回目(1～5期)	当館学芸員	11月4日(水)	8人
37	少人数ワーク研修(1～5期)	桑原和美(ARDA)	11月5日(木)	10人
38	ひらびーCafé	当館学芸員	11月7日(土)	5人
39	実践研修4回目(6期)	三ツ木紀英(ARDA)	11月14日(土)	10人
40	少人数ワーク自主研修(1～5期)	当館学芸員	11月17日(火)	5人
41	少人数ワーク自主研修(1～5期)	当館学芸員	11月19日(木)	16人
42	少人数ワーク自主研修(1～5期)	桑原和美(ARDA)	11月27日(金)	10人
43	実践研修5回目(1～6期)	三ツ木紀英(ARDA)	11月28日(土)	14人
44	実践研修6回目(1～6期)	三ツ木紀英(ARDA)	12月5日(土)	15人
45	実践研修7回目(6期)	三ツ木紀英(ARDA)	12月19日(土)	9人
46	自主研修9回目(1～6期)	当館学芸員	1月9日(土)	7人
47	少人数ワーク研修(6期)	桑原和美(ARDA)	1月23日(土)	11人
48	実践研修8回目(6期)	三ツ木紀英(ARDA)	1月30日(土)	10人
49	自主研修10回目(1～5期)	当館学芸員	2月5日(金)	5人
50	自主研修(1～5期)	当館学芸員	2月11日(木)	4人
51	実践研修9回目(6期)	三ツ木紀英(ARDA)	2月13日(土)	7人
52	フォローアップ研修(1～5期)	三ツ木紀英(ARDA)	2月19日(金)	15人
53	実践研修10回目(6期)	三ツ木紀英(ARDA)	2月20日(土)	12人
54	少人数ワーク研修(6期)	桑原和美(ARDA)	2月26日(金)	6人
55	自主研修(1～5期)	当館学芸員	3月5日(金)	8人
56	自主研修(1～6期)	当館学芸員	3月6日(土)	10人
57	自主研修(1～5期)	当館学芸員	3月10日(水)	4人
58	自主研修(1～5期)	当館学芸員	3月12日(金)	14人
59	ひらびーCafé(全体ミーティング)	桑原和美(ARDA)	3月18日(木)	7人
60	合同研修	三ツ木紀英(ARDA)	3月19日(金)	17人
61	少人数ワーク研修(6期)	桑原和美(ARDA)	3月27日(土)	11人

●対話による美術鑑賞講座を実施しました。

2校4クラス実施 参加人数：133人 コロナ対策授業として今年度は事前授業のみの授業も実施しました。

NO	学校名	講師	学校実施日	来館授業日	学年	クラス数	参加人数
1	なでしこ小学校	ひらびあ一つま〜れ	12月1日(火)	—	4年	2クラス	61人
2	金田小学校	ひらびあ一つま〜れ	12月16日(水)	—	1年	2クラス	72人
3	みずほ小学校	ひらびあ一つま〜れ	中止	中止	4年	3クラス	—
4	なでしこ小学校	ひらびあ一つま〜れ	中止	中止	3年	2クラス	—
5	港小学校	ひらびあ一つま〜れ	中止	中止	4年	3クラス	—
6	金田小学校	ひらびあ一つま〜れ	中止	中止	3年	3クラス	—

●一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

1プログラムを実施 参加人数：138人

NO	鑑賞会名	講師	実施日	参加人数
1	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	11月10日(火)～14日(土) 11月17日(火)～21日(土)	138人

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行っています。

貸出実績：なし

(5) おうちで美術を楽しもう

ご自宅でも平塚市美術館の所蔵作品を楽しんでいただけるよう、多種多様なコンテンツを美術館ウェブにて公開しました。

担当：久保田知美（当館会計年度任用職員）、品川ちひろ（当館会計年度任用職員）



●動画／オンラインワークショップ

美術館で人気のあるワークショップをご自宅でも体験できるよう、動画を撮影編集し、YouTube 平塚市美術館公式チャンネル及び美術館ウェブにて公開しました。

公開 11 本 再生回数合計 1482 回

NO	動画タイトル	講師	撮影日	公開日	再生回数 ※1
1	赤ちゃんアート・オンライン① 田澤茂《太陽の街》	富田 めぐみ ※2	7月29日	8月14日	166回
2	赤ちゃんアート・オンライン② 海老原喜之助《曲馬》	富田 めぐみ ※2	7月29日	8月14日	84回
3	赤ちゃんアート・オンライン③ 嶋岡 剛《SHOUNAN II》	富田 めぐみ ※2	7月29日	8月17日	61回
4	赤ちゃんアート・オンライン④ 近藤弘明《寂照夜》	富田 めぐみ ※2	7月29日	8月17日	125回
5	体験アートセラピー 親子でパステルアート・オンライン	福山恵美子 (アートセラピスト)	8月6日	8月27日	370回
6	家をあつめて街をつくろう	当館会計年度任用職員	-	9月19日	133回

7	赤ちゃんアート・オンライン⑤ 入江観《彫像のある景色》	富田 めぐみ ※2	9月15日	10月21日	111回
8	赤ちゃんアート・オンライン⑥ 勝呂忠《或る記憶の景》	富田 めぐみ ※2	9月15日	11月19日	95回
9	赤ちゃんアート・オンライン⑦ 堀井英男《みつめる》	富田 めぐみ ※2	10月13日	11月19日	52回
10	体験アートセラピー コラージュボックスを作ろう・オンライン	福山 恵美子 (アートセラピスト)	10月7日	11月29日	126回
11	赤ちゃんアート・オンライン⑧ 宮川慶子《聞こえる》	富田 めぐみ ※2	12月25日	2月5日	159回

※1 再生回数は2021年3月31日の情報を反映

※2 NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

●ゲーム

3種類作成。

NO	ゲーム名	公開日
1	すごろくで旅に出よう	8月7日
2	あつまれどうぶつの森をマイデザインで飾ろう	8月8日
3	旅の思い出をアルバムに残そう	9月10日

●ワークシート

5種類作成。

NO	ワークシート名	公開日
1	塗り絵（椿貞雄《菊子座像》）	4月20日
2	ワークシート「視点を変えて描こう」	4月20日
3	塗り絵/ワークシート（北澤映月《女人Ⅱ》）	4月20日
4	ワークシート「物語を作ろう！」	5月27日
5	作ってみよう！おうちでワークショップ 「星とカササギのモビール作り」	6月19日

IV その他の事業

(1) 事業

●こども年賀状とおとな絵手紙展

会 期：1月7日(木)～1月11日(月・祝)

主 催：平塚市美術館

場 所：市民アートギャラリーB室

内 容：美術館を身近に感じてもらうための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、市民アートギャラリーに展示する「こども年賀状とおとな絵手紙展」を開催しました。当企画は平成20年度開催から数えて、今回で12回目となります。

作品数：167点

入場者数：181人

(2) 団体向け研修・体験プログラム

新型コロナウイルス感染症対策のため実施しませんでした。

(3) 博物館実習生及び職場体験

●博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生9人(8大学)を受け入れ、9月から12月まで実習を実施しました。

●中堅教諭等資質向上研修

社会体験研修の受け入れ5年時研修として2名の教員の受け入れを行いました。

(4) 広報活動

美術館の情報をタイムリーに発信し利便性や来館者の増加を図るため、公式ツイッター（@HiratsukaArt）を2020年10月23日から開始しました。

発信の内容は、展覧会情報、教育普及活動情報、施設情報等です。

また、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言で活動が制限される中でも、美術館活動を周知するため、所蔵品や所蔵作家の紹介、過去のワークショップの紹介などの情報を発信しています。

V 施設利用者等の統計

※ 令和2年4月9日（木）から6月14日（日）まで、新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館したため、各施設の利用はありません。

（1）展覧会

●観覧者数

月	R2年度				R元(H31)年度				H30年度			
	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計
4月	-	-	-	-	25日	1,461人	-	1,461人	26日	2,132人	-	2,132人
5月	-	-	-	-	27日	6,374人	-	6,374人	27日	7,372人	-	7,372人
6月	13日	-	404人	404人	26日	3,720人	108人	3,828人	26日	6,807人	-	6,807人
7月	27日	-	1,470人	1,470人	26日	7,289人	4,825人	12,114人	26日	16,633人	13,453人	30,086人
8月	26日	-	2,286人	2,286人	27日	13,236人	8,149人	21,385人	27日	42,429人	32,934人	75,363人
9月	26日	-	1,655人	1,655人	25日	-	762人	762人	27日	7,310人	5,575人	12,885人
10月	27日	-	2,437人	2,437人	27日	1,996人	1,793人	3,789人	26日	6,046人	4,732人	10,778人
11月	25日	-	2,186人	2,186人	26日	4,913人	4,452人	9,365人	26日	7,519人	5,572人	13,091人
12月	23日	-	1,238人	1,238人	24日	375人	1,530人	1,905人	25日	-	1,992人	1,992人
1月	24日	-	1,214人	1,214人	24日	-	2,718人	2,718人	24日	-	3,506人	3,506人
2月	24日	-	1,852人	1,852人	25日	-	2,826人	2,826人	24日	-	3,406人	3,406人
3月	26日	-	1,973人	1,973人	1日	-	57人	57人	24日	-	2,067人	2,067人
4月	4日	-	627人	627人	3日	-	105人	105人	6日	-	109人	109人
計	245日	0人	17,342人	17,342人	286日	39,364人	27,325人	66,689人	314日	96,248人	73,346人	169,594人

●学校観覧

		R2年度						R元(H31)年度						H30年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数
小学校	市内	-	-	-	4校	264人	21人	6校	369人	29人	7校	352人	28人	8校	357人	35人	9校	408人	42人
	市外	-	-	-	0校	0人	0人	8校	403人	26人	10校	567人	39人	1校	477人	39人	13校	831人	53人
中学校	市内	-	-	-	1校	5人	3人	4校	41人	10人	3校	40人	12人	4校	39人	9人	7校	57人	22人
	市外	-	-	-	0校	0人	0人	14校	189人	20人	13校	175人	19人	15校	221人	26人	14校	218人	25人
高等学校		-	-	-	0校	0人	0人	7校	73人	21人	5校	75人	28人	15校	145人	42人	8校	82人	24人
計		-	-	-	5校	269人	24人	39校	1,075人	106人	38校	1,209人	126人	56校	1,239人	151人	51校	1,596人	166人

(2) 貸出施設

●市民アートギャラリー

	R2 年度			R 元(H31) 年度			H30 年度		
月	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4 月	-	-	-	25 日	6 団体	2,822 人	24 日	7 団体	3,262 人
5 月	-	-	-	26 日	7 団体	4,089 人	30 日		4,401 人
6 月	-	-	-	24 日	7 団体	4,038 人	24 日	7 団体	3,936 人
7 月	6 日	1 団体	1,050 人	29 日	5 団体	2,951 人	30 日	7 団体	6,176 人
8 月	11 日	2 団体	383 人	24 日	6 団体	4,300 人	24 日	5 団体	10,033 人
9 月	19 日	4 団体	1,339 人	23 日	6 団体	3,463 人	25 日	7 団体	3,613 人
10 月	13 日	2 団体	792 人	26 日	6 団体	3,188 人	29 日	5 団体	4,280 人
11 月	12 日	1 団体	317 人	25 日	6 団体	7,650 人	26 日	5 団体	7,177 人
12 月	6 日	1 団体	307 人	12 日	3 団体	1,456 人	12 日	3 団体	1,622 人
1 月	13 日	3 団体	783 人	24 日	5 団体	4,830 人	27 日	7 団体	5,807 人
2 月	12 日	2 団体	522 人	19 日	5 団体	3,829 人	18 日	5 団体	3,910 人
3 月	12 日	2 団体	673 人	-	-	-	25 日	3 団体	3,498 人
計	115 日	18 団体	6,166 人	257 日	62 団体	42,616 人	294 日	68 団体	57,715 人

●ミュージアムホール

	R2 年度			R 元(H31) 年度			H30 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4 月	-	-	-	3 日	3 団体	235 人	8 日	8 団体	523 人
5 月	-	-	-	-	-	-	1 日	1 団体	40 人
6 月	-	-	-	9 日	9 団体	825 人	4 日	4 団体	305 人
7 月	-	-	-	2 日	2 団体	185 人	3 日	3 団体	102 人
8 月	1 日	1 団体	47 人	-	-	-	-	-	89 人
9 月	3 日	3 団体	105 人	5 日	5 団体	270 人	7 日	7 団体	369 人
10 月	1 日	1 団体	70 人	-	-	-	-	-	-
11 月	1 日	1 団体	47 人	3 日	3 団体	160 人	7 日	7 団体	530 人
12 月	6 日	6 団体	293 人	9 日	9 団体	680 人	10 日	10 団体	813 人
1 月	0 日	0 団体	0 人	3 日	3 団体	265 人	4 日	4 団体	315 人
2 月	1 日	1 団体	7 人	1 日	1 団体	50 人	2 日	2 団体	200 人
3 月	7 日	8 団体	349 人	-	-	-	10 日	10 団体	676 人
計	20 日	21 団体	918 人	35 日	35 団体	2,670 人	56 日	56 団体	3,962 人

●アトリエ

	R2 年度			R 元(H31) 年度			H30 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4 月	-	-	-	3 日	3 団体	30 人	1 日	1 団体	7 人
5 月	-	-	-	2 日	2 団体	18 人	3 日	3 団体	87 人
6 月	-	-	-	4 日	4 団体	44 人	6 日	6 団体	242 人
7 月	4 日	4 団体	48 人	4 日	4 団体	53 人	3 日	3 団体	30 人
8 月	0 日	0 団体	0 人	3 日	3 団体	57 人	4 日	4 団体	101 人
9 月	2 日	2 団体	13 人	3 日	3 団体	28 人	4 日	4 団体	35 人
10 月	3 日	3 団体	28 人	5 日	5 団体	309 人	8 日	8 団体	261 人
11 月	4 日	4 団体	39 人	5 日	5 団体	100 人	4 日	4 団体	30 人
12 月	4 日	4 団体	32 人	2 日	2 団体	17 人	2 日	2 団体	18 人
1 月	10 日	1 団体	149 人	11 日	3 団体	214 人	9 日	4 団体	351 人
2 月	1 日	1 団体	6 人	4 日	4 団体	64 人	5 日	5 団体	35 人
3 月	4 日	4 団体	33 人	-	-	-	3 日	3 団体	31 人
計	32 日	23 団体	348 人	46 日	38 団体	934 人	52 日	47 団体	1,228 人

VI 施設の管理

●防災訓練

実施日時：2月2日（火）～7日（日） 9：00～16：30

内容

新型コロナウイルス対策のため、防災啓発映像の視聴をもって訓練に変えました。

神奈川県総合防災センターが保有する映像資料を借用し、職員及び委託業者の計49名が視聴しました。

映像資料の「防災の備えと意識10カ条 東日本大震災が残した教訓」では、個人が身近なところで取組むことのできる、地震や津波に対して必要な備えが10項目にまとめられており、なぜその備えが必要なのか、実際に何をしたらいいかがわかりやすく紹介されています。

視聴後の職員からは、「職場や家庭での防災の必要性が再認識できた」「耐震補強や家具等の転倒防止の点検をしようと思った」など、防災意識の高まりが感じられました。

●臨時休館

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4月9日（木）～6月14日（日）まで臨時休館しました。